

「自然環境」を 持続可能にする

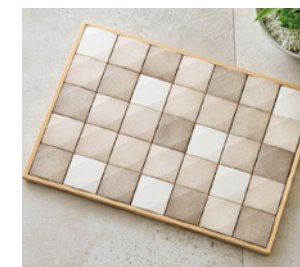
明るくハッピーな未来に向けて、環境にも人にもやさしい生活を

世界中が自然環境問題に対して警鐘を鳴らす最中、2020年10月には日本においても「2050年二酸化炭素排出ゼロ」宣言が発表されました。当社でも「環境にも人にもやさしい暮らし」をテーマに、家具やファッションなどの商品ももとよりパッケージなどの資材に、自然環境に配慮した素材の採用を積極的に進めています。また、生物多様性保全の取組みとして、森林の循環に繋がる家具の開発や、森林保護団体への寄付を継続的に行っています。

自然環境に配慮した素材、 染色方法を採用

環境保全を進める上で、資源の持続可能な利用は必要不可欠なこととして、日々新たな環境配慮素材やそのための取組みが登場しています。

「ディノス」でも、自然由来素材や再生素材の採用をはじめ、染色方法にもこだわるなど、様々なアイデアや工夫を取り入れた商品を提案しています。例えば、マヨネーズ工場から廃棄物として出る卵の殻をリサイクルして作った、吸水性・速乾性の高いバスマットや、植物系の再生繊維キュプラを織り込んだ生地のチュニック、さらに、花、葉、茎といった自然素材から染料を抽出したプルオーバーなど、暮らしを彩る多様なアイテムをご紹介します。さらに、梱包資材についても、一部環境配慮素材の使用を行っています。



マヨネーズ工場から出る卵の殻を
リサイクルしたバスマット



再生繊維(セルロース)を使用した
チュニックブラウス



自然素材から染料を抽出して
作ったプルオーバー



焼却時に有毒ガスが発生しない素材の
商品パッケージ

「自然環境」を 持続可能にする



生物多様性の保全への貢献、 森林を守る取組み

様々な動植物の生態系や種、遺伝子等、生物多様性の保全は、自然環境における大きな課題となっています。長年、家具を取り扱ってきた「ディノス」では、日本の森林保護への貢献に努めており、「サステナブルなものづくり」をテーマに、国産材を積極的に使用しています。森林循環が滞り自然災害の一因にもなることが問題となる中、ニーズの減少により、伐採されず長年山に残されたままの、大分県・日田の大径木を用いた、書棚などの収納家具などを開発しました。

また、対象商品の売上の一部が、地球規模での環境問題の解決に取り組む、国際環境NGO「FoE Japan」に対する寄付につながるなど、お客様とともに森を守る取組みも継続しています。

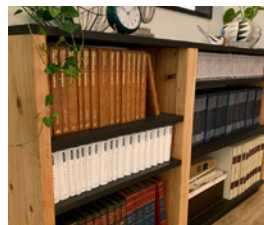
カタログ通販事業者としての 責任ある紙の使用

環境への配慮から、当社では「責任ある紙の使用」をテーマに、カタログやDMの発行を行っています。紙媒体からオンラインショッピングへの売り場のシフトを図りつつ、カタログに使用する用紙の斤量減少にも努めています。また、FSC認証紙などの環境配慮用紙についても積極的に採用していく予定です。

さらに、物流倉庫内にオンデマンドプリンタを設置。これにより、商品に同梱するチラシについては少数の印刷や短納期での対応ができ、無駄な印刷を少なくすることももちろん、印刷物の輸送にかかる温室効果ガスの削減にも貢献しています。今後はお客様一人ひとりに向けた、パーソナライズドカタログの発行なども検討していきます。



オンデマンドプリンタでDMなど、印刷の無駄を少なく



日田杉大径木を使って
開発した収納家具



商品の売上の一部を「FoE Japan」に寄付
(左)美容カタログ「D-beauty+ (ディービューティープラス)」
(上)ファッションカタログ「So close, (ソークローズ、)」



商品に最適な多種類の段ボール(ディノス)



商品サイズに適した段ボールに
変更(イミニ)

商品梱包サイズの適正化とダウンサイジングで 省資源化を推進

当社では、気候変動緩和に向けた取組みとして、お届けする商品の梱包の省資源化を推進しています。「ディノス」では、生活用品をはじめとしたインテリア雑貨やファッション、化粧品など形や大きさの異なる様々なジャンルの商品に対し、環境負荷を軽減する観点から、過剰な梱包を避け、最適な梱包サイズとするため、商品配送用のダンボール箱は約30種類と多数取り揃えました。また、「イミニ」でも商品の外箱サイズをもとに、複数アイテムがぴったりと収まる、コンパクトな配送用ダンボールを採用しています。

さらに、輸送エネルギーの効率化を図るため、ハンガー付きのアパレル商品を畳んだ状態でのお届けに変更するなど、商品出荷時における梱包のダウンサイジング化にも取り組んでいます。